

第四次宇部市健康づくり計画（素案）に対する意見募集の結果

令和4年2月

1 意見募集の概要

- (1) 募集期間 令和4年1月31日（月曜日）～2月21日（月曜日）
- (2) 意見提出者数 3人
- (3) 意見件数 7件
- (4) 対応の区分別意見件数
 - ア 意見を計画案に反映したもの 6件
 - イ 意見の趣旨が計画案に既に反映されているもの 1件

2 意見及び市の考え方と対応

NO	箇所	意見	市の考え方と対応	区分
1	P9	グラフの標題は、「年齢死亡調整率」ではなく「年齢調整死亡率」が正しいのでは。	素案の内容が誤りでした。 御意見のとおり修正します。	ア
2	P18	健康経営について注釈が必要では。	健康経営の注釈として、「（企業が従業員の健康に配慮することによって、経営面においても大きな成果が期待できるとの基盤に立って、健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること）」を追記します。	ア
3	P27	厚東の小さい集落で中山間地域等の助成を活用した事業を毎年行っています。外注せず全て自治会員による自営施工です。それには、女性の皆さんのパワーが大きく貢献しています。体を動かし楽しい会話が弾む。このことが集落のコミュニケーションづくり、ひいては健康づくりに大きく作用しています。これからも続けて行きたいと思います。	日頃から地域で健康づくりにつながる活動に取り組んでいただきありがとうございます。 御意見のとおり、市民の健康づくりを推進するためには、地域全体で健康づくりを実践することが重要と考えています。 計画案では「地域の健康づくりの推進」を基本方針の一つとして掲げており、この方針に基づき各取組を進めます。	イ
4	P44	「社会とつながる機会がない」ではなく「社会とつながる機会が少ない」では。	素案の内容が誤りでした。 御意見のとおり修正します。	ア

NO	箇所	意見	市の考え方と対応	区分
5	P53	がん検診の精密検査後に、がんと診断された市民に対する不安や悩みの解消など心のケアを実施することも大切と思います。	御意見のとおり、がん患者を支えるための取組は大切と考えており、市では、「がん・なんでも相談窓口」など、がん患者に優しいまちづくりを推進しています。素案に、その取組に関する記載がありませんでしたので、追記します。	ア
6	P53 P75	ナッジについて一般の市民に分かりやすい説明があればよいと思います。「行動経済学上、対象者に選択の余地を残しながらも、より良い方向に誘導する手法。」の説明はよく分かりません。	ナッジの注釈が遠回しで分かりにくかったため、「人々が望ましい選択を自然に取れるよう後押しする手法。受診率の向上対策で例えると、受診の必要性のみを説明するのではなく、人々の行動パターンを分析し、受診に至るきっかけを提供する、より効果的な勧奨方法。」に修正します。	ア
7	P74	フレイル、オーラルフレイルについて、注釈がないので分かりにくい。	ライフステージに応じた市民の取組の表に、フレイル（加齢に伴い心身の活力が低下した状態）、オーラルフレイル（加齢に伴い歯や口の働きが衰えた状態）の注釈を追記します。	ア